



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 株式会社 朝日工業社

上場取引所 東

コード番号 1975 URL <https://www.asahikogyosha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高須 康有

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長副社長執行役員総務本部長 (氏名) 亀田 道也

TEL 03-6452-8181

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,482	1.5	356		212		144	
2022年3月期第1四半期	13,682	14.7	413		274		194	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 199百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 507百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.29	
2022年3月期第1四半期	15.19	

(注) 2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	67,448	34,111	50.6	2,658.89
2022年3月期	72,081	34,360	47.7	2,678.31

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 34,111百万円 2022年3月期 34,360百万円

(注) 2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		50.00		70.00	120.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 配当金の内訳

2022年3月期第2四半期 普通配当 50円00銭 2022年3月期期末 普通配当 50円00銭 特別配当20円00銭

2023年3月期第2四半期(予想) 普通配当 25円00銭 2023年3月期期末(予想) 普通配当 25円00銭

2. 2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2023年3月期(予想)については、当該株式分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,600	15.7	2,600	13.6	2,800	7.9	2,000	7.5	155.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注)2022年4月1日で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,600,000 株	2022年3月期	13,600,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	770,870 株	2022年3月期	770,822 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	12,829,162 株	2022年3月期1Q	12,801,462 株

(注) 2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
(1) 連結受注高	8
(2) 個別受注高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、まん延防止等重点措置が解除され、感染拡大の防止策を講じつつ、経済活動の正常化が進む中で、企業の生産活動や設備投資には持ち直しの動きもみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制による影響が懸念される中、原油高、資材高、新たな変異株の発生による感染再拡大の懸念など先行きは依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの事業環境は、設備工事業業につきましては、建設投資は堅調に推移しておりますが、受注環境における価格競争の厳しさ、工期の延伸、資機材の高騰などが懸念される状況が続きました。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、FPD（フラットパネルディスプレイ）製造装置向け製品、半導体製造装置向け製品とともに、前期に引き続き電子部品等の不足による生産計画の調整等があり、また、FPD製造装置向け製品については、中国におけるロックダウン等による搬入作業への影響が懸念される状況が続きました。

こうした経営環境の下で、当社グループは業績の向上に総力を上げて取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,482百万円（前年同期比1.5%減少）、営業損失は356百万円、経常損失は212百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は144百万円となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

<設備工事業業>

売上高	12,052百万円	(△1.0%)
営業損失	410百万円	(－)

受注高は24,858百万円で前年同期比63.8%の増加となりました。

売上高は、前年同期比1.0%の減少となり、営業損失は売上総利益率の改善により、前年同期の543百万円から改善し410百万円となりました。

<機器製造販売事業>

売上高	1,429百万円	(△5.0%)
営業利益	54百万円	(△57.9%)

受注高は1,968百万円で前年同期比26.6%の増加となりました。

売上高は、前年同期比5.0%の減少となり、営業利益は製品売上総利益率の低下により前年同期129百万円から減少し54百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が67,448百万円（前年度末比4,632百万円減少）となりました。主な増加は、電子記録債権952百万円及び未成工事支出金486百万円であり、主な減少は、現金預金1,821百万円及び受取手形・完成工事未収入金等5,441百万円です。

負債総額は33,337百万円（前年度末比4,383百万円減少）となりました。主な増加は、電子記録債務1,834百万円、未成工事受入金1,105百万円であり、主な減少は、支払手形・工事未払金等5,394百万円及び短期借入金920百万円です。

純資産は34,111百万円（前年度末比249百万円減少）となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金315百万円であり、主な減少は、利益剰余金593百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲等様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす影響が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	19,513	17,691
受取手形・完成工事未収入金等	24,606	19,164
電子記録債権	5,029	5,981
製品	0	0
未成工事支出金	873	1,360
仕掛品	635	747
材料貯蔵品	145	202
その他	1,335	2,177
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	52,136	47,325
固定資産		
有形固定資産	5,383	5,326
無形固定資産	1,031	961
投資その他の資産		
投資有価証券	12,290	12,730
その他	1,251	1,117
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	13,529	13,835
固定資産合計	19,944	20,123
資産合計	72,081	67,448
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,058	11,663
電子記録債務	10,051	11,885
短期借入金	3,800	2,880
未払法人税等	956	31
未成工事受入金	1,936	3,042
完成工事補償引当金	63	89
工事損失引当金	381	354
その他	1,328	1,105
流動負債合計	35,576	31,054
固定負債		
退職給付に係る負債	978	1,035
その他	1,165	1,247
固定負債合計	2,143	2,283
負債合計	37,720	33,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,760	3,760
利益剰余金	23,120	22,526
自己株式	△691	△691
株主資本合計	30,046	29,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,652	4,967
為替換算調整勘定	170	181
退職給付に係る調整累計額	△509	△490
その他の包括利益累計額合計	4,314	4,659
純資産合計	34,360	34,111
負債純資産合計	72,081	67,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	13,682	13,482
売上原価	12,535	12,285
売上総利益	1,146	1,196
販売費及び一般管理費	1,560	1,553
営業損失(△)	△413	△356
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	126	134
為替差益	11	7
その他	14	13
営業外収益合計	152	155
営業外費用		
支払利息	8	7
コミットメントフィー	3	3
その他	1	0
営業外費用合計	13	12
経常損失(△)	△274	△212
特別利益		
事業譲渡益	—	70
特別利益合計	—	70
特別損失		
固定資産処分損	0	2
投資有価証券評価損	0	15
特別損失合計	0	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△275	△160
法人税、住民税及び事業税	20	46
法人税等調整額	△100	△62
法人税等合計	△80	△15
四半期純損失(△)	△194	△144
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△194	△144

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△194	△144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△354	315
為替換算調整勘定	29	11
退職給付に係る調整額	11	18
その他の包括利益合計	△312	344
四半期包括利益	△507	199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△507	199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りについて)

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症は2023年3月期以降も継続すると仮定しております。事業活動への影響も想定されますが、業績への影響は軽微であると仮定して、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響について不確定要素が多いため、その状況によっては、今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事 事業	機器製造 販売事業	合 計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,177	1,504	13,682	—	13,682
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,177	1,504	13,682	—	13,682
セグメント利益又は損失(△) (注)	△543	129	△413	—	△413

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	設備工事 事業	機器製造 販売事業	合 計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,052	1,429	13,482	—	13,482
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	21	—	21	△21	—
計	12,073	1,429	13,503	△21	13,482
セグメント利益又は損失(△) (注)	△410	54	△356	—	△356

(注) セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 補足情報

(1) 連結受注高

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
設 備 工 事 事 業	15,173	90.7	24,858	92.7	9,684	63.8
機 器 製 造 販 売 事 業	1,554	9.3	1,968	7.3	414	26.6
合 計	16,727	100.0	26,826	100.0	10,099	60.4

(2) 個別受注高

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		増 減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
設 備 工 事 事 業	14,753	90.5	24,560	92.6	9,807	66.5
機 器 製 造 販 売 事 業	1,554	9.5	1,968	7.4	414	26.6
合 計	16,307	100.0	26,528	100.0	10,221	62.7